



年度末を迎えるにあたって

校長 吉岡 雅彦

3月を迎え、今年度の教育活動も残すところあとわずかになりました。先日の授業参観・懇談会では、ご多用中にもかかわらず、多くの皆様にご来校いただきましてありがとうございました。私も授業の様子を見て回りましたが、4月と比べて子供たちが成長している様子を身近に感じることができました。学習発表会を開き、1年間で学んだことを子供たちが中心となって発表している様子、調べ学習の成果を保護者の皆様に発表（プレゼン）している様子、国語で物語文の読み取りを行っている様子など、さまざまな授業の様子を見ましたが、学習に対して主体的に取り組む子供たちが4月当初よりも増えたように感じました。

また、教職員は、1年間のまとめの授業参観を行うにあたって、授業の流れをどうするか、どのような子供の姿を見せようか一生懸命考えていました。参観も含めて授業を行うにあたって、本校の教職員は日頃から研究や準備を熱心に行っています。互いに授業を見合って意見交換したり、よりよい授業にするために情報共有をしたりしながら、1年間の教育活動を行ってまいりました。職員室等で教材研究をしている姿や、教室で板書の練習をしている姿、タブレットなどのICTの準備をしている姿など、子供たちがいないところで準備をしている教職員の姿を、私は日々見てきました。授業を行う教員だけでなく、授業を行わない教職員もしっかりとサポートしています。参観等を通して、お子様の成長した姿とともに、教職員の努力にもお気づきいただけたら幸いです。

さて、3月24日には卒業証書授与式、3月26日には修了式が行われます。今年度は、106名の6年生が本校を卒業していきます。6年生は、1年生のお手伝いやなかよしタイム（縦割り活動）などで、下級生のお世話を進んで行ってくれました。また、運動会などの学校行事や、委員会活動、クラブ活動のリーダーとしても活躍してくれました。小学校生活における学びや経験を、中学校生活につなげていけることを願っています。6年生の保護者の皆様には、長きにわたり本校の教育活動にご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。お子様の健やかな成長を、教職員一同願っております。

※北小だよりは、3月26日の修了式に最終号を発行いたします。

[illegible]

レ

